

なつ や しかおどり
夏屋鹿踊

- ◇ 指定日 平成元年12月12日
- ◇ 所在地 夏屋
- ◇ 保持団体 夏屋鹿踊保存会

伝書によると、天文11年(1542年)に大^やまとのくにかすが ^{きよはらぎよぶのすけ} 和国春日の清原刑部助が、夏屋村の袴田家に伝えたとされています。

毎年お盆には、14日から16日までの3日間、回向^{えこう}といって民家を回って死者を供養する、門打ちを行ってきました。15日は夏屋稻荷神社に奉納、16日は檀那寺流^{だんなでらりゅう}月院^{げついん}の本堂、位牌堂へ「さんごえ」の唄いで回向^{えこう}をした後、鹿踊を演じています。

また、鹿踊の前に前口上を述べる伝統を守ってきました。

平成2年に保存会を発足し、ダイナミックな跳躍とピタリと静止するといった、夏屋鹿踊の特徴の伝承に努めています。

演目…くるい・草かがり・投げ草・門がかり・女じし狂い

